



水俣を世界に伝えた軌跡 美術館ギャラリートーク

11月13日(土)、つなぎ美術館で「ユージン・スミスとアイリーン・スミスが見た MINAMATA」のギャラリートークが開かれ、約40人が参加しました。写真家のアイリーン・スミスさんをゲストに迎え、展示した写真について解説。アイリーンさんは「水俣病は過去の問題ではない。写真から『水俣』という空間を共有したかった」と話していました。



↑写真に対する思いを話すアイリーンさん

優美な音色で名曲の世界へ Art × Music ピアノコンサート

11月14日(日)、つなぎ美術館で「Art × Music ピアノコンサート」が開かれ、ピアニストの中川賢一さんが柔らかい音色を響かせました。作曲家のドビュシーの「月の光」など全20曲を披露すると、訪れた約20人は曲が終わるたびに大きな拍手を送っていました。参加者は「プロの演奏は素晴らしく、癒やされた」と話していました。



↑美しい音色が響き、柔らかな雰囲気にも包まれました

↓久しぶりの開催でにぎわいを見せるつなぎ朝市



1 年半ぶり復活で大にぎわい つなぎ朝市

つなぎ朝市が11月13日(土)、物産ギャラリーグリーンゲイトで約1年半ぶりに開かれました。コロナ禍で昨年3月から中止が続いていました。新鮮な野菜や鮮魚などを並べた10団体が出店。再開を待ちわびた住民で早朝からにぎわいを見せていました。お客さんからは「ずっと来たかった朝市が再開できてうれしい」と声を弾ませていました。

↓作品が完成するまでの経緯を話す楠本学芸員



イ チョウの森から聞こえる言霊 美術館キュレーターズトーク

11月13日(土)、役場近くの石霊の森で「柳幸典つなぎプロジェクト」のキュレーターズ(学芸員)トークが開かれ、約20人が参加しました。石霊の森は、現代美術家の柳幸典さんが手がけ、石の中から言霊が聞こえる様子を表現した作品です。美術館の楠本智郎学芸員が3年間にわたって行われたこの企画の経緯や、柳さんの作品に対する思いなどを話していました。

仕事の魅力を中学生へ 中学校キャリアガイダンス

11月8日(月)、津奈木中学校で地元の仕事に興味を持ってもらおうと、中学校キャリアガイダンスが開かれました。ギタリストの岩崎貴文さん(日当出身)など計3人が生徒へ仕事内容や魅力、やりがいなどを説明。他にも自身の学生時代の話やこれからの進路に向けたアドバイスもありました。生徒は講師へ質問やメモをとるなど真剣な表情で聞いていました。



↑仕事の魅力を話すギタリストの岩崎貴文さん

地域の交通安全に大きな貢献 県交通安全功労者表彰式

11月9日(火)、県交通安全功労者表彰式が開かれ、石田ミサ子さん(桜戸)が受賞されました。この表彰は長年にわたり交通事故防止に尽力し、模範となる人に贈られるもの。石田さんは登下校時間帯に通学路で見守り活動を行うなど、子どもたちを事件や事故から守っています。石田さんは「長年の活動が評価されたことはありがたい」と話していました。



↑表彰を受けた石田さん(写真右)



↓赤崎地域の安全を祈る参加者



赤崎の安全を弁天島でお祈り 弁天様のお祭り

10月31日(日)、旧赤崎小学校近くの弁天島で、弁天様のお祭りが開かれました。アーティストの五十嵐靖晃さんによるアートプロジェクトの一環です。管理者の松田テル子さん(日当)が、伝えられてきた作法に乗っ取って、弁天様にお神酒や赤飯などを供えました。今までは松田さんたった一人で行ってきた祭りで、ことしは地域住民など約30人が集まりました。

↓むし歯を防ぐためにしっかり歯をみがきましょう



しっかりみがいて歯ッピーに 小学校歯みがき教室

11月9日(火)、水俣芦北歯科衛生士会で結成する「はみがき隊」が正しい歯のみがき方を小学6年生28人に指導しました。大きな歯の模型と歯ブラシを使い、「歯と歯の間と根元は手入れが行き届きにくいから歯垢が残りやすい」などとむし歯になりやすい場所を説明。児童からは「むし歯にならないように気を付けてみがきたい」と話していました。